

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第3学年

1. 主題名 「進んで助けよう」 B4 友情、信頼
2. 資料名 「明るくなった友だち」 (出典：学研「みんなのどうとく3」)
3. ねらい

どんな友達であっても互いに理解し、困っているときはすすんで助けようとする心情を育てる。

4. 展開

時間	学習活動 (○発問、☆中心発問) と児童の反応 (・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	1 挿絵を見て思ったことを話し合う。 ○挿絵の顔を見て、その子はどんな気持ちだと思えますか。 ・楽しい。 ・うれしいな。	◇明るい表情であることを押さえると共に、この子は友達関係で学校に来ることができなかったことを伝え、学習課題につなげる。
展開 35分	2 「明るくなった友だち」を読んで、感じたことを話し合う。 ○あなたが千緒なら、迎えに行きますか。 行かない ・人には事情があるから。 ・行くことで、迷惑がかかるかもしれないから。 行く ・同じクラスの友達だから。 ・早く学校に来てほしいから。 ○その子のために一生懸命頑張る千緒は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ① 一人で迎えに行く。 ② みんなが加わってきて。 ③ 仲良く遊べるようになって。	◇机をコの字型にして、友達と議論しやすいように場を工夫する。 ◇立場を明確にさせ、理由を発表させる。 ◇千緒は、その子を助けるか、自分を守るか二つの気持ちがあり、迷っていたことを理解させる。 ◇千緒が行動したことによってその子が学校に来て、明るくなったことを押さえ、その時の気持ちを深く考えさせる。 ◇千緒が心の弱さを乗り越えたきっかけは何で、どういう気持ちの大切さに気付いたからか考えさせる。 ◆助け合いや友情の大切さについて、考えを深めようとしている。(発言)
	3 友達と明るく過ごすために大切なことを考える。 ☆友達と明るく楽しく過ごすためには、どのような気持ちや行動が大切なのかを考えましょう。 ・仲間はずれにしない。 ・相手の気持ちを大切にしていこう。	◇相手の気持ちを考え優しく行動することのよさを十分に感じさせ、価値の実感を高めさせるようにする。 ◆助け合うことのよさに気づき、自分なりに友達との関係を考えようとしている。(発言・ワークシート)
終末 5分	4 「友達になるために」の童謡を聞く。 5 友達について感じたこと等をまとめる。	◇童謡から感じたことを発表させる。 ◇「学びの記録」を書く。